



歴史のドアを開けよう

Natural History
第58回

いしかり博物誌

■文化財課 ☎72-6123

bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp

■石狩浜海浜植物保護センター ☎60-6107

ihama@city.ishikari.hokkaido.jp



▲日露戦争凱旋式(花畔尋常高等小学校校庭)

凱

旋門といえ、パリの凱旋門が有名ですが、石狩にも「凱旋門」があったとしたら驚くでしょうか。

現在市教委で整理している高島家文書の中に「凱旋門建築費決算ノ件(明治38年11月25日)」という文書があります。日露戦争が終わり、出征していた兵士を迎えるために本町地区の入口に建てた「凱旋門」の決算書です。同じ高島家文書の「軍隊歓迎之件(明治38年10月30日)」では、この門は「緑門」と呼ばれています。緑

「石狩の凱旋門」

門とは、骨組みに笹や松の枝などをつけてつくるアーチのことです。写真は、花畔尋常高等小学校で行われた「日露戦争凱旋式」ですが、この写真の右側に写っているアーチが「緑門」です。もしかするとこのアーチも「凱旋門」と呼ばれていたかもしれません。

戦

勝を記念して門を建て、将兵を迎えるという凱旋門の起源は、はるかローマ時代にさかのぼるといいます。橋爪伸也氏によれば、日本では、もともとこのような風習はなかったのですが、明治以降、広く行われるようになり、特に日露戦争の際には凱旋門ブームが起り、日本中に凱旋門が建てられたといえます。

今

全国で凱旋門を建て、熱狂的に出征兵士を迎えた一方、日露戦争の戦死者は、約8万8千人に上りました。石狩でも、10人の方が戦死しています。

年は、日露戦争が始まってからちょうど100年目に当たりますが、すでに遠くなったこの戦争も忘れなくてはならないでしょう。

(工藤義衛)

『凱旋門建築費決算ノ件』

過搬各区有志より寄付ヲ以テ建設ヲナセル凱旋門収支決算左記ノ通りニ有之候条此段御通知候也

(中略)

支出ノ部

金二十五円 凱旋門建設請負金
金二円五十銭 額面
金二十八銭 細引二本代
金二円六十銭 国旗大小三枚代
計金三十円三十八銭

(後略)

◀高島家文書の文面

■参考文献:『祝祭の帝国』 橋爪伸也 1998 講談社選書メチエ

■写真:『21世紀に伝える写真集』 石狩市教育委員会編 21ページ「日露戦争凱旋式」より